

教員名：狩谷 あゆみ（かりや・あゆみ）

○担当科目：社会意識論（前期・水2限）、犯罪社会学（後期・月3限）、社会学研究法（後期水曜2限・2年次必修・4クラス）、社会意識論演習（前後期・木3限）、犯罪社会学演習（前後期・木2限）、卒業研究・卒業論文（集中）

○他に一般教養特殊講義（犯罪と社会）を担当しています（前期・金1限）。社会学専攻生はまだ履修できますが、社会学科の学生は履修できません。TAかSAは社会学科の学生も社会学専攻生も可能なのでぜひお願いしたいです。

*研究や社会活動については「教員データベース」を確認してください。

<https://shu-lab.shudo-u.ac.jp/shuhp/KgApp?kyoinId=ymdggeysggy>

○卒業研究について（新4年以上対象）

卒業研究は、3年生までに社会意識論演習か犯罪社会学演習を履修した人に限ります。卒業論文（8単位）は大学院への進学を希望する人に限られます。卒業論文を履修する場合は、個別に相談してください。

○演習科目（新2年、新3年対象）

過去に使用した本を含めて、今のところ考えているテキストは以下となります（すべて使用するという意味ではありません）。

*社会意識論演習

青弓社編集部, 2021『「テレビは見ない」というけれど～エンタメコンテンツをフェミニズム・ジェンダーから読む～』青弓社

阪井裕一郎, 2024, 『結婚の社会学』ちくま新書

本多真隆, 2023, 『「家庭」の誕生』ちくま新書

太田 正一, 2021, 『ニッポン男性アイドル史～一九六〇-二〇一〇年代～』青弓社

堀川修平, 2023, 『「日本に性教育はなかった」という前に』柏書房 ←犯罪社会学にも関連

*犯罪社会学演習

玉城英彦他, 『刑務所には時計がない～大学生が見た日本の刑務所～』人間と歴史社

斎藤章佳, 2025, 『夫が痴漢で逮捕されました 性犯罪と「加害者家族」』朝日選書

鮎川潤, 2022, 『新版 少年犯罪』平凡社

塚原久美, 2022, 『日本の中絶』ちくま新書

沢山美果子, 2008, 『江戸の捨て子たち』吉川弘文館

○質問があればどうぞ kariya@alpha.shudo-u.ac.jp